

2007 / 6 / 26 / 火
 「自 殺」 メンバー：
 助っ人：

岐阜自殺「いじめ」と校長謝罪



記者会見の最後に謝罪する(左から)梅村正靖・市教委委員長、市立瑞浪中の佐々木喜三夫校長、尾石和正・瑞浪市教育長、高嶋芳男市長 Photo By 共同

岐阜県の瑞浪市立瑞浪中2年の女子生徒(14)が自殺した問題で、佐々木喜三夫校長が31日会見し、「いじめが死に至らしめた」と述べた。これまでは「いじめは確認できていない」としていたが、全生徒へのアンケートなどで落ち度を認め、いじめが引き金になったことを初めて認めた。佐々木校長は同日夜、女子生徒宅を訪れ両親に謝罪した。

佐々木校長は、女子生徒の自殺が発覚した先月29日の会見から一貫して「自殺につながるようないじめの事実は確認できていない」と繰り返してきた。だが、全生徒への緊急アンケートなどで、少なくとも今年5月以降、いじめが続いていたと確認したことで前言を撤回。会見に同席した同市の尾石和正教育長も「調査結果から、いじめが本人にとって大きな痛みとなり、死へ追い込んだ」との認識を示した。

女子生徒はバスケットボールのクラブ活動などで部員からいじめを受けていたという。先月23日午後2時ごろ、自宅の部屋で首をつって死亡しているのを家族が発見。ゴミ箱からクラブで一緒だった同学年の4人の名前とともに「これでお荷物が減るからね。もう何もかもがんばる事に疲れました」と書かれた遺書が見つかった。

学校側の対応を不服とした女子生徒の両親は、遺書と、28日に校長や学年主任が生徒宅を訪れた際に撮ったビデオを公開。映像には、学年主任が「(遺書に名前があった)4人の生徒の親が、無視するなどの態度をとって女子生徒を傷つけたことを認めた」と発言している様子などが映っており「明らかにいじめがあった」と反論していた。

同校は「思いを十分にくみ取れなかった。アンテナが低くて(いじめを)見つけられなかった」と落ち度を認め、佐々木校長が同日夜、女子生徒宅を訪れ両親に謝罪。「いじめに負ける子ではないという思いがあった」と釈明した。校長が目には涙を浮かべ、土下座する場面もあったが、父親は「今さら何だ。教育者とは思えない。ショックだ」と悲痛な表情で吐き捨てた。

[2006年11月01日]

<http://www.sponichi.co.jp/society/special/2006fukuoka/KFullNormal20061101083...> 2007/06/20

平成17年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(抜粋)

(5-1) 児童生徒の自殺の状況

(単位:人)

区分	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
小学生	-	-	-	10	9	11	10	8	8	6	12	11	14	5	10	1	5	5	3	4	10	3	9	6	4
中学生	69	79	72	89	91	104	59	74	62	83	66	79	110	54	62	53	35	43	68	40	69	59	41	41	69
高校生	208	211	216	222	235	265	164	146	129	148	111	125	144	111	103	101	101	73	88	87	87	77	93	86	119

区分	11	12	13	14	15	16	17
小学生	2	4	4	3	5	4	3
中学生	49	49	37	36	34	31	26
高校生	112	94	93	84	98	91	76

注1) 小学生の自殺については、昭和52年より調査。

注2) 昭和49年から62年までは年間の数、昭和63年以降は年度間の数である。

いじめられる悲しさ

〈埼玉県・中学三年／女子〉

「どうして私はいじめられるんだろう。」私は小学校五年のときからずっといじめられてきました。四年の時も少しいじめられたけど、本当にいじめられたのは五年の時からです。まず、初めにやられたのは「バイキンあつかい」です。男子は「ギタナイ」と言いながら、私の机をけつとぼしたりしました。女子はそれを見て、喜んでいました。そして羨に楽しそうでした。

これぐらいだったら、まだフツの人だったら、がまんでくるかもしれませんが、だんだんひどくなつてきて、男子は私に暴力をふるうようになってしまいました。先生に言っても、先生は特に何もしてくれませんでした。N君は私のかみの毛を切ろうとしたし、M君は力尽きるまで私の足をけつとぼしてきました。あの痛みは今でも忘れることができません。

それと、私には姉がいるので、服やうわばきは姉の使った「おさがり」を使っていました。そ

れだけで男子や女子は私のことをびんぼうあつかいしたりしました。ある時は、うわばきに、だまたま姉の名前がうすく残っていたんですが、その時E君は、そのうわばきをけつとぼして、私のだと知つていながらどこかへやつてしまいました。

あと、こんなこともありました。私が画びょうを捨おうとした時、そばにいたTさんが、わざと私の手をぶつけたのです。あの時の手の痛みも忘れることができません。それと、集団暴力(リンチ)にもあいました。Nさんが私の体を押さえつけて楽しそうにしていました。そして周りにいる人達は私のことをけつとぼしたりして楽しんでいました。男子も女子も本当に楽しそうでした。

そして、もつとイヤだったのは、T君が他のクラスに褒なウワサを流したことです。どんなウワサかというと、「〇〇はバイキンなんだ。だから、よけるように」と私のことを周りからもつといじめられるように、そのT君はしかけてしまったのです。その時から私は他のクラスからもいじめられるようになってしまいました。

とうとう私はいじめられたまま、小学校を卒業してしまいました。私は「中学生になったら、きつといじめなんてないだろう」と期待しながら、中学に入学したんですが、その期待は見事にはずれました。小学校の時、私のことをいじめたひとりのS君と同じクラスになつてしまい、S君はやつぱり私に暴力をふるつたし、クラスには「〇〇はバイキンだ」というウワサを流してしまいました。だから私は結局、新しいクラスからもいじめられることになってしまいました。

でも、中学の先生はほとんどの人がしつかりしていて、よくS君などに注意してくれました。でも先生に言った(つげぐちした)ということで、私はまたS君に暴力されました。でも中二、中三は、S君とはクラスが同じにならなかったので良かったです。

でもどうして、いじめはなくなるのでしょうか。この前は愛知県で中学二年の男の子が、十二月十三日には中学一年の男の子がいじめが原因で自殺しています。一人の男の子がいじめられた時、周囲の人達はどうしていたのでしょうか。やつぱり笑つて見ていたのでしょうか。私は今までずっといじめられてきたので、いじめられる悲しさを知っているのです。誰かがいじめられたら助けてあげようと思つています。周囲にいる人達が正しく行動すればいじめもなくなると思います。私は正しく行動するひとりになりたいです。次のいじめの被害者がでないように……。